

代表 楠見 真保氏
KUSUMI

「癒しを届ける場所を広げたい」
— 尾道で始めた、リラクゼーションとバーのかたち —

【新会員紹介】



今月の見どころ

5 月尾道支部定例会では、基調講演にて、株式会社アイ・エム・シー ユナイテッド 代表取締役社長 今津正彦氏に報告をいただきました。同友会に入会してからはとにかく実践をしようと、何となくあった経営指針を、真の経営指針へと作成直し、社員と共有。社員教育、求人を勉強し会社に落とし込み、さらに全社一丸で皆の経営指針書を作成されました。一人一人が仕事に誇りを持ち、社員が主役のコミュニケーションの取れた会社だと感じました。それはやはり今津氏が同友会で勉強したことを職場に持ち帰り、社員に伝えることを実践したからだと思います。今期のスローガン「学びを即実践！ 同友会で共に未来を創ろう～つながりを力に、自社の進化を～」再確認できるととても良い総会でした。

INDEX

- P2.3……尾道支部定時総会
- P4………新会員紹介
- P5………青年部会・経営労働委員会
- P6………支部理事会報告
- P7………行事案内、スケジュール

5 月支部総会

「学びを即実践！同友会で共に未来を創ろう」

報告者

(株)アイ・エム・シー ユナイテッド 代表取締役社長 今津 正彦 氏

■日程：2025 年 5 月 15 日（木）18：00～21：00

■会場：グリーンヒルホテル尾道

令和 7 年 5 月 15 日第 33 回定時総会が行われました。一般社団法人化されてから、初めての総会でした。

立石支部長の開会挨拶は、「成功の反対語は実践しない事です」という言葉から始まりました。今回大阪万博の仕事をし、社員の「その仕事をみんなに見せてあげたい」という一言から社員旅行を実行！社員とその家族を大阪万博に連れて行き、家族は社員の仕事を見て喜んだというお話をされていました。社員の何気ない一言を聴き即実践する。まさに今期のスローガンそのままのエピソードでした。

基調講演は株式会社アイ・エム・シー ユナイテッド 代表取締役社長 今津正彦氏の報告でした。

車の営業で成績がよく自信を持っていた今津氏が、一番働きたくなかった製造業へ、加えて父親と弟と同じ職場環境にやめたくて仕方がなかった 5 年。急に理事長を引き継いってしまったという自分とリンクして、話に聞き入ってしまいました。

結婚を機に本腰を入れて仕事をしようと変化し、人を雇いたい、会社を大きくしたいという想いから M&A をされます。自分の中では大成功と思っていましたが、ある日社員からもらった要望書を見て愕然とされました。そこには、要望ではなく、経営者を全否定するような言葉が並べられ、95 パーセントが社長である今津氏への否定文だったそうです。要望書の内容を聞き、私も怖くなりました。落ち込み、人間不信にもなりましたが、何とかしなければと思っていたとき、同友会への 2 度目のお願いがあり入会されました。同友会に入会してからはとにかく実践をしようと、何となくあった経営指針を、真の経営指針へと作成し直し、社員と共有。社員教育、求人を勉強し会社に落とし込み、さらに全社一丸で皆の経営指針書を作成されました。実際に経営指針書を見てみると、社員の一人一人の好きなこと目標、社員が主体の様々な部会などが載っていました。一人一人が仕事に誇りを持ち、社員が主役のコミュニケーションの取れた会社だと感じました。それはやはり今津氏が同友会で勉強したことを職場に持ち帰り、社員に伝えることを実践したからだと思います。今期のスローガン「学びを即実践！同友会で共に未来を創ろう～つながりを力に、自社の進化を～」再確認できるとても良い総会でした。懇親会は皆さんの経営自慢や最近良かったことなどを聞き、笑ったり感心したりととても楽しい時間でした。最後に総会をご準備、進いただいた役員の皆様、ありがとうございました。

(特非) 工房おのみち帆布 島田美鈴



尾道支部総会アンケート結果のフィードバック

尾道支部定時総会の参加者は48名でした。そのうち、15名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- 同友会での学びが意識転換と経営の安定に繋がるのだと感じました。ひとつひとつに向き合う粘り強さに、尊敬しました。
- 行動することの大切さが、改めてわかりました。
- とても赤裸々に報告していただき感動しました、自分の分からない事は社員さんに任せる勇気が大切だと感じました。ありがとうございました
- 大変な苦勞を乗り越えて来た歴史を知ることが出来て勉強になった
- 今津さんの「社員みんなのための会社」づくりを目的とした経営指針に感銘を受けました。また、委員会活動も大変参考になりました。
- 今津氏の今に至るまでの体験は非常に辛い事だったと思います。社員からの要望書もよくご対応されたと思います。しかし同友会活動に取り組めば必ずいい方向に向かうという学びをいただいたと思います。困った時に頼りになるのが同友会の仲間だと改めて思いました。
- 社員と向き合うことの大切さを改めて感じた講演会でした
- 社員との壮絶な経験をして同友会に入会してから、同友会で学んだ事を即実践し新しい社員との素晴らしい関係性を作ったところに感動しました。
- 理念、ビジョンを伝えているか。
- M&Aした先の社員の要望書からの展開がとても生々しかったです。同友会で役をしていると実践したつもりになりがちですが、常にアウトプットをしっかりしていこうと思いました。
- 久しぶりに心にグッとくる基調講演だったと思います。「なんのために誰の為に経営しているのか」改めて考えるきっかけを貰いました。ありがとうございました。
- 良いモノづくりは、良いヒトづくり、凄く共感しました。
- 過去の苦悩から同友会で改善したストーリーが美しかった

「癒しを届ける場所を広げたい」 — 尾道で始めた、リラクゼーションとバーのかたち —

KUSUMI 代表 楠見 真保 氏

自己紹介をお願いします。

楠見真保（くすみ・まほ）です。1992年3月1日生まれで、広島県尾道市の出身です。高校は尾道東高校に通い、大学は大阪の学校に進学しました。

大学を卒業してからは一度尾道に戻り、3年半ほど働きました。その後もう一度大阪に行き、リラクゼーションの勉強をしながら現場でも経験を積みしました。

その後体調を崩したりもありましたが、回復してからはテレビ局に就職。働いていた部署の上司が辞めるのをきっかけに、その方が関わっていたシャンパンとワインの会社に声をかけてもらって、そちらに転職しました。

そこでは、総務経理の仕事を任されていました。また、私が副業でネットショップをやっていたこともあり、コロナ禍で販売が落ち込んでいたシャンパンとワインをネットで売る為の子会社の立ち上げに関わりました。その後、自分自身でも酒類販売免許を取得し、別の会社でネット販売事業を立ち上げて運営していました。また、リラクゼーションの仕事も続けていました。

けれど、主に運営していた楽天のショップを一度作り直さないといけなくなり、そのタイミングで、ふと「このままずっとネットショップを続けるのか？」「このままこの場所にいるのか？」と自分の働き方を見直したときに、やっぱり私は「人と関わる仕事がしたい」と強く思うようになったんです。ちょうどそのころ、以前リラクゼーションスパの仕事で一緒に働いていた子と再会して、彼女も独立を考えていたので、「じゃあ一緒にやってみようか」と話が進みました。海が見える場所でやりたいよね、彼女の希望もあって、私の地元・尾道で物件を探し、今の場所にたどり着きました。

バーとリラクゼーションを同じ建物でやる、という少し珍しい形でしたが、お互いの経験を活かしてチャレンジしようという思いがありました。実際には、お店の準備をしている途中で彼女が退くことになり、私自身もすごく悩みましたが、お店を続けています。



仕事内容を教えてください。

今は、1階がバー、2階がリラクゼーションスパという形で、ひとつの建物を活用して営業しています。

バーは夜の20時から深夜1時まで営業しています。土曜日はお昼から開けていて、そのときはスイーツやコーヒーなども提供しています。

一方、リラクゼーションの方では、足つぼやアロマトリートメント、カッピングなどを行っています。実は、20代の頃は突然難病にかかり、長期の入院。寝たきりの状態を余儀なくされました。その中で自律神経を整えることの大切さや、身体の不調、疲れ、お悩みに答えられるようなサロンになりたいと思っています。

もう社会復帰は出来なかったと思っていたが、健康のありがたみを日々感じています。

そのとき同じ病室だった方と「私達はこのまま人に迷惑をかけ続けて生きていくから、未来はないよね」と話していました。しかし、その方から「覚えてますか？」と連絡をもらって。その方も少しずつ記憶が戻ってきて、また人生を歩み始めていると聞いたとき、「やってよかったな」と心から思いました。

仕事のこだわりを教えてください。

リラクゼーションについては、「非日常を感じてもらえる空間」を意識しています。みなさん、普段の生活の中でストレスを抱えていたり、体の不調を我慢していたりと思うんですけど、ここでは少しでも気持ちと体が軽くなるような時間を提供したいなと。

広島県って健康寿命が全国でも下の方で、平均寿命は長くても、自立して生活できる期間は短いというデータがあります。だからこそ、少しでも健康寿命を延ばすお手伝いができればと思っています。

足つぼって、日本ではまだ「痛そう」とか「リラクゼーションの一種」って思われがちですが、ドイツや台湾では医療の現場でも使われています。特にドイツでは保険治療の対象になっていたり、台湾では病院の中に足つぼの設備があったりするんですよ。実際、私自身も体調が悪かったときに足つぼでかなり助けられました。だから「予防医療」としてもっと広めていきたいと思っています。

バーの方では、他ではなかなか飲めないようなワインやシャンパンを、できるだけ手取りやすい価格で提供できるようにしています。今はフルーツパフェやスイーツを組み合わせたデザート、女性の方でも気軽に楽しんでもらえるよう工夫しています。

あと、タフティング（オリジナルのラグマットを作る体験）や、クリスタルボウルの演奏会、コーヒー屋さんとのコラボなど、地域の人やお客さんと一緒に楽しめるようなイベントも積極的に行っています。「ここに来ると何かある」と思ってもらえるようにしたいなと思っていて、体験の場づくりに力を入れています。

最後に、夢を聞かせてください。

これからは、リラクゼーションの方を中心に広げていきたいと考えています。

尾道って、揉みほぐしを気軽に受けられる場所が意外と少なく、個人のアロマサロンはあっても、ふらっと入れるようなお店はほとんどないんです。だから今後は、例えば国道沿いとか、アクセスしやすい場所に「もみほぐし専門」のお店を展開できたらと考えています。それに加えて、将来的には因島や向島といった島のほうにも進出して、海辺でマッサージが受けられるような、リゾート的な癒しの空間を作れたらと思っています。ホテルや旅館と提携して、旅行者の方にも施術ができるようになったら嬉しいですね。尾道には宿泊施設もたくさんあるのに、マッサージの出張サービスがあまりないと聞いたので、そのあたりもチャンスがあると感じています。1人では難しい部分もありますが、少しずつ仲間を増やして実現していけたらと思っています。プライベートでは、20代はずっと体調のこともあって動けない時期が長かったので、30代は仕事もプライベートも楽しめるようにしていきたいです。旅行もいろんなところに行きたいし、そういった経験がまた今後の仕事にもつながっていくんじゃないかなと思っています。

ありがとうございました。（文／畑・写真／上田）



5 月青年部会例会

■とき：2025 年 5 月 31 日（土） ■会場：各グループ店舗、SHIMA サロン

【尾道支部 青年部会 懇親例会】

5 月 31 日、尾道支部青年部の恒例イベントである懇親例会を開催しました。

タイトルは【～大人の遠足～in ONOMICHI singai】これまではスポーツや BBQ などアウトドア中心の懇親を行ってきましたが、今回は food&BAR like the Sun 川本塾生実行委員長が「もっと経営談議に花を咲かせたい！」という強い想いのもと、新しい形の例会を企画。「この目線が足りないのでは？」「こちらの方が目的に合っているかも」といった本音トークも交えながら、熱量高く企画を練り上げました。当日は“懇親”という名にふさわしく、普段お酒を飲まれない方も、いつも以上に楽しんでいる方も、それぞれに顔を赤らめながら談笑する姿がとても印象的でした。皆さん、きっと自社に還元できるヒントをそれぞれ持ち帰られたのではないのでしょうか。実行委員長をはじめ、見えないところでご尽力くださった皆様に、心より御礼申し上げます。なお、この例会は清水部会長にとっても今期初の例会。新たなスタートを飾る、良い起爆剤となったのではないかと感じています。今後も青年部らしい自由な発想と行動力で、よりよい活動を重ねていきましょう！

広菱産業(有) 伊豫本 主



尾道青年部5月懇親例会
～大人の遠足～
in ONOMICHI singai

6 月勉強会

■とき：2025 年 6 月 9 日（月） ■会場：尾道市役所

【尾道支部 経営労働委員会 勉強会】

6 月 9 日（月）経営労働委員会 6 月勉強会を尾道市役所にて、池永経営会計事務所の鉄本一生先生を講師としてお迎えし、「インフレ期の 3 か年利益計画の立て方」について、勉強会をしていただきました。

30 年のデフレ期を終え、昨今のインフレ期で、利益計画の何が変わったのか？どうやって利益を確保するのか？現金が多いとどのようなリスクがあるのか？ポイントを踏まえて、実例を挙げながらご説明頂きました。

参加者の中には、経営理念のある方、無い方、作成中の方と様々でしたが、自社の商品・サービスを 1 番喜んでくれる人、他社と比べて高い金額で買ってくれる人をリサーチし、それをどのように伝えていくのか、戦略から戦術への展開を板金や裁縫を例にあげて学びました。

インフレ期において、貨幣の価値が下がることによって、現金が腐っていく。ヒト・モノ・カネの観点から、積極的に投資を行っていくべきだとのアドバイスもありました。

自社の強みを理解し、どのように付加価値を高め、どのマーケットで勝負をするべきか、中小企業として生き残って行く為のヒントがたくさんありました。

鉄本先生ありがとうございました。次回も宜しくお願い致します。

鐵萬商事（株）池田 敦



議長：小坪副支部長

■ 開会挨拶（立石支部長）

※立石支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

※今後の支部例会の準備状況について報告しました。

※6月支部例会は、6/19（木）に多目的スペース1で開催します。テーマは「ひとつ、良い経営環境を作ろう！」です。報告者はあめかんむり 土井 卓 氏です。世界放浪の旅での出来事や、なぜ尾道で開業したのかなど、自身の経験をもとに自然と意識せず形成されてきた独特の経営環境論について話していただきます。

※7月支部例会は7/17（木）19時より、「ピンチをチャンスに」と題して開催します。報告は、㈱P'z コーポレーション 大原 亮子 氏です。ご予約おください。

※8月支部例会は8/20（水）18時30より開催します。報告者、テーマ、会場につきましては、次月報告いたします。

■ 県理事会の報告（代 / 事務局）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。

- ・5/19に開催されました。事務所移転について、事務所の契約更新はしない方針が共有されました。
- ・会員資格喪失の対応について、今月振り込みがなければ督促状がいく共有がされました。

■ その他

※委員会ででべら web の具体化について再検討することになりました。

広報委員会が6月正副支部長会議に再提案し、7月の支部理事会で意見交換することになりました。

※尾道市議会人口減少対策推進議員連盟 第一回研修会、尾道、府中の市議会議員の参加がありました。

■ 討議事項

テーマ：合同委員会の目的意識を深める 委員会の在り方とやり方

【合同委員会の意義】

各委員会でマンネリ化を防ぐために、他委員会の会員と交流を行うこと。

参加人数が増えてくると、ゲストを呼ぶことができること。

各委員長への負担を下げる。合同にすることで片方と分担できること。

【討論発表】

出席がしやすいよう、合同例会をする必要があると意見がありました。お会いしたことのない会員同士が会うことができる良さがあります。会社にとって何が必要なのかを考える必要があります。

初めまして…から入ると本題に入るまでに時間がかかってしまうと思います。

テーマと意見を持った上で参加する必要があります。

半強制的に委員会に入るのもいいのではという意見もありました。組織改正から見つめ直す必要もあるのではないのでしょうか。

テーマ決めがすごく難しいという意見が出ました。

かしこまらずに委員会へ入ってもいいのではないのでしょうか。

支部例会で手一杯なところ、合同例会にまで力を入れられる委員会にしていくなのではないのでしょうか。

【まとめ】

- ①でべら新報 web の具体化について再検討。広報委員会が6月正副支部長会議に再提案し、7月の支部理事会で意見交換を行います。
- ②県理事会報告より、長期滞納者の対応が共有されました。
- ③尾道市総合計画審議会委員へ立石支部長が就任しました。
- ④尾道中期ビジョンチームに加藤氏、神原氏が加入しました。
- ⑤入退会が承認されました。

■ 委員会・部会の報告

※各委員会・部会より報告がありました。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部会長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数

現在会員数

130名

年度未まで

126名

【入退会のお知らせ】

今月は、退会1名の承認がされました。

退会希望者 1名
（有）やすもと 安本 皇 氏

※2025年6月4日現在 会員数は126名です。

■ 閉会挨拶（新谷担当理事）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

7月2日（水）19:00～ 会場：工房おのみち帆布

尾道支部 2025 年 7 月 委員会・部会行事のご案内

組織総務委員会

- 日時: 7 月 22 日 (火) 19 時 (予定)
- 会場: 尾道帆布 2 階
- 内容: 仲間づくりの進捗

広報委員会

- 日時: 7 月 28 日 (月)
- 会場:
- 内容: でべらミーティング
合同勉強会について

経営労働委員会

- 日時: 7 月 3 日 (木)
- 会場: サテライト会場および Zoom
- 内容: 東部エリア経営基礎講座

求人社員教育委員会

- 日時: 7 月 9 日 (水)
- 会場:
- 内容: 合同委員会 (組織総務委員会)

政策環境委員会

- 日時: 7 月 日 ()
- 会場:
- 内容: 第 1 回アンケート実施

青年部会

- 日時: 7 月 24 日 (木)
- 会場:
- 内容: 体験報告例会

女性部会

- 日時: 7 月 17 日 (金)
- 会場: 尾道市役所多目的スペース 3
- 内容: 担当支部例会

支部理事会

- 日時: 7 月 2 日 (水) 19:00
- 会場: 工房おのみち帆布

7 月支部例会

「ピンチをチャンスに」

- 日時: 7 月 17 日 (金)
- 会場: 尾道市役所多目的スペース 3
- 報告者: (株) P'z コーポレーション 代表取締役 大原 亮子 氏

スケジュール

2025 年 7 月								2025 年 8 月									
2	3		9		17	22	24	28	6	7	10	12		20	25	26	28
支部理事会	経営労働委員会		求人社員教育委員会		支部例会	組織総務委員会	青年部会	広報委員会	支部理事会	経営労働委員会	政策環境委員会	女性部会		合同例会	広報委員会	組織総務委員会	青年部会

一般社団法人

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局: 〒720-0066 福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F

T E L: 084-923-0286

F A X: 084-923-0284

e-mail: fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】立石 良典

【広報委員長】高垣 将一



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利!



QRコードから簡単ログイン!